

叙勲・褒章受章おめでとうございます



◇瑞宝双光章

なかの かつひろ
中野 勝弘 氏(中3丁目)

氏は、昭和31年から長きに渡り、幸手市立行幸小学校および幸手市立権現堂川小学校の学校薬剤師を務められ、学習環境の向上に貢献されました。また、幸手薬剤師会会長・最高顧問を務められるなど地域医療の発展に寄与されました。



◇瑞宝小綬章

たかぎ ひでお
高木 秀雄 氏(中1丁目)

氏は、国語の教諭として埼玉県立久喜高等学校などで教鞭をとられた後、埼玉県立栗橋高等学校教頭、埼玉県立浦和高等学校教頭を歴任、そして埼玉県立幸手高等学校校長を務められるなど、長年にわたり教育の振興に寄与されました。

公共下水道の供用開始のお知らせ

令和元年度は、南3丁目地内の幸手駅西口土地区画整理事業区域を中心に公共下水道工事を行い、当該区域内の一部で公共下水道の供用が開始されました。

引き続き令和2年度には、中5丁目地内東武日光線西側を中心に管渠整備の工事を実施する予定です。なお、関係する地域のみなさんには、6月頃に工事説明会を行います。

今後も、事業計画区域内における未整備区域の管渠整備を重点的にを行い、供用区域の拡大を図ってまいりますのでご理解ご協力をお願いします。



■下水道使用料の納入

公共下水道の利用に伴い、上水道の使用水量に応じて算出された下水道使用料が発生します。お支払は、原則として2か月ごとに上水道料金と一緒に納入していただきます。

■早期接続にご協力を

公共下水道が整備された区域では、接続替えの工事を行い、家庭などからの汚水を直接公共下水道に流さなければなりません。また、くみ取り式トイレは、下水道法の定めにより公共下水道の整備後3年以内に水洗化することが義務づけられています。宅地内の接続替えの工事をする場合は、「幸手市下水道排水設備指定工事店」に依頼して施工するようにお願いします。

■雨水は絶対に流入させない

市が整備している公共下水道は「分流式」といって、汚水のみを処理できるようになっています。雨水が大量に流入すると、汚水が逆流してトイレなどが使用できなくなったり、マンホールから汚水が溢れ出すこともあります。

◆汚水マスのふたが壊れている場合は、早急に修理をお願いします。

◆配管に誤りがある場合は、至急改善してください。

◆故意に雨水を流入させた場合、罰せられることがあります。

問合せ 下水道課 ☎ (47) 3340 ・ 📠 (48) 0120

春の全国交通安全運動 4月6日(月)～15日(水)



▼新入学(園)児の交通安全活動を推進

◎交通安全は家庭から
交通ルールにまだ不慣れな新入学(園)児を悲惨な交通事故から守り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるには、日ごろから、子どもが生活する場所や自宅付近の道路で「どの場所まで止まり」「どの信号を見るのか」「どの方向からの車を確かめるのか」など、実践的な指導をすることが大切です。保護者が自ら交通ルールや正しい交通マナーを繰り返し子どもに示すことで、危険な場所や状況などについて学習させ、子どもたちを交通事故から守りましょう。

◎交通事故を防ぐ「5つの行動」

①もしかして：もしかして自動車などが来るかもしれないという意識をもちましょう。

②止まる：「止まれ」の標識への意識をもって、完全に止まるようにしましょう。

③見る：左右、前後、周りが安全かどうか、自分の目でしっかり見ましょう。

④待つ：心と時間にゆとりをもって、安全が確保されるまで待ちましょう。

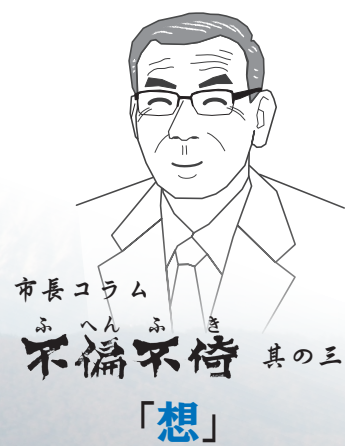
⑤確かめる：安全に横断・通行できるか、もう一度よく確かめましょう。

▼自動車などを運転する人へ

昨年4月中の人身交通事故を分析すると、「午前6時～午前8時の時間帯の事故」「65歳以上の高齢者による事故」「追突事故」が多発しています。

朝の出勤・通学の際は早めに出発し、ゆとりをもった運転を心がけましょう。また、スマートフォンや携帯電話の使用は安全な場所に駐車してから行いましょう。

問合せ 幸手警察署 ☎ (42) 0110・危機管理防災課 ☎ (43) 1111 内線 583



市長コラム
不偏不倚 其の三
「想」
幸手市長 木村純夫

過日、随分久しぶりに愛用の自転車で渡良瀬遊水地に足をのぼしてきました。学生時代には東京から青森県の十和田湖まで、往復自転車で野宿の一人旅をした経験もあります。また、昭和四十八

年の早春、大宮で挙式後の新婚旅行は二台の自転車で約十日間、北関東を一周しました。

渡良瀬遊水地(谷中湖)は足尾鉬毒事件による鉬毒を沈殿させ、無害化することを目的に渡良瀬川下流に作られた日本最大の遊水地(幸手市の面積とほぼ同じ三十三平方キロ)で総貯水量二六〇〇万トン。昨年の台風一九号の際、一億六千万立方メートルの洪水を貯め、その威力を十分に發揮しました。また、本州最大の湿地で、ラムサール条約に登録されています。野鳥、昆虫、魚類も多く年中行事のヨシ焼き(今年は三月二十一日)も見逃せません。風物詩です。

私は茨城県日立市の銅鉬山に勤務した時期があり、足尾鉬毒事件は他人事ではない、身近な問題でした。遊水地内には、全域が強制買収され廃村となった、谷中村役場跡や需電神社跡に遺跡が残っています。鉬毒問題を明治天皇に直訴した田中正造代議士の遺訓は、「真の文明は山を荒さず、川を荒さず、村を破らず、人を殺さざるべし」でした。それらの事に想いをはせながら、遊水地の中程にある公園に佇立すると、三六〇度のパノラマが拡がり、富士山をはじめとする雄大な四方の山々が望めます。上天気の下、サイクリングロードをゆつくりまわった一日でした。